

日中対照言語学会会報 (No.51)

2020年5月10日(水)発行 会報担当:加藤晴子 続三義

目次

1. 第5回常務理事会拡大会議(2020年4月16日)
2. 日中対照言語学会第43回大会中止のお知らせ
3. 月例会(2019年10月~2020年1月)

※事務局より

1. 第5回常務理事会拡大会議議事録

新型コロナウイルスの影響で、ネット会議が開催され、関係議題を検討した。

【審議事項】

- ① 春季大会の開催の可否
社会全体の状況がすでに大会の開催を云々する状態ではないことから、中止とします。後日、あらたな提案をさせていただきます。
- ② 会員総会について
①に基づき、中止としますが、後日、あらたな提案をさせていただきます。
- ③ 上記に伴う役員任期の延長
②の案に基づき、後日、あらたな提案をさせていただきます。
- ④ 事務局の仕事について
事務局の業務軽減を図り、関係体制を整えます。
- ⑤ 学会誌審査委員長の交代について
次期学会誌審査委員長に于康氏を選出し、後日の提案に基づき開催される総会に諮ります。
- ⑥ 学会誌第22号『日中言語対照研究論集』論集の刊行時期について
学会誌第22号『日中言語対照研究論集』の刊行時期については、予定通りに発行しますが、郵送に関しては事務局内で調整をします。

【報告事項】

- ① 学会誌第22号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況【平山・加藤】
査読本数:25本
第1次審査結果:採用4本、再査読9本(※内1本は執筆者の希望により投稿取り下げ)、不採用12本
最終採用本数:8本(第1次査読で4本。再査読により4本)
- ② 特集号『副詞』の編集の進捗状況【王】
初校が終わり、二校が始まります。
- ③ 会費納入、学会誌送付の現状【竹島・白石】
3月19日現在 225冊を送付(手渡しを含む)しております。
新入会員数 : 32名(社会人会員数11名+大学院生会員数21名)
全会員数 : 252名(2019年4月1日の会員数)+32名(新入会員数)=284名
会費納入者数: 165名(既存会員会費納入者数)+32名(新入会員数)=197名
- ④ その他
無し。

2. 日中対照言語学会第43回大会（2020年度春季大会）中止についてのお知らせ

社会全体の状況がすでに大会の開催を云々する状態ではないことから、中止とします。

3. 月例会（2019年10月～2020年1月）

■日 時：2019年10月19日（土）17：30～19：00

場 所：大東文化会館 K-404

発表者：新田小雨子（早稲田大学非常勤講師）

テーマ：中国語の仮定複文の構文形式についての研究 — “如果”文を中心として—

■日 時：2019年11月9日（土）17：00～19：00

場 所：大東文化会館 K-404

発表者：小路口ゆみ（跡見学園女子大学・非）

テーマ：中国語テキストにおける“把”構文中の副詞の位置について —副詞“都”を中心に

■日 時：2020年1月11日（土）17：00～19：00

場 所：大東文化会館 K-404

発表者：呉雨（國學院大學・院生）

テーマ：国会会議録における副詞の使用実態

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会 HP 上で随時受け付けています。申込ができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡ください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 会報は、今後は郵送いたしません。会員メーリングリストにて送付するとともに、学会 HP 上に掲載いたします。
- 3) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させていただいております。アドレスが不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、アドレスの変更につきましても、同様をお願い申し上げます。
- 4) 年間会費の納入について
今年度は春大会の開催が中止となりましたので、事務局より、振込用紙の送付をいたします。ご納入のほどよろしくお願いいたします。
- 5) 月例会発表者募集について
発表希望者は毎月末までに、翌月発表したいテーマと要旨（500 字前後）を王学群（ohgakubun@toyo.jp）までお申し込みください。当面は開催を見合わせますが、状況が変われば、会員メーリングリストにて改めて通知することといたします。

